

JISA-DI調査、情報サービス業 売上の将来見通し／雇用判断
令和3年10～12月売上高予測DI、35.6ポイント プラス
雇用判断DI(従業者の不足感)、55.9ポイント

JISA-DI調査(令和3年9月)では、令和3年10～12月期の売上高全体の予測DIは35.6ポイント プラスとなった。
 主要業務種類別では、「受注ソフトウェア」「システム等管理運営受託」「各種調査」はプラス幅を拡大し、「サーバハウジング/ホスティング」は±0ポイントからプラスに転じ、「ソフトウェアプロダクト」「計算事務等情報処理」「セキュリティサービス」はプラス幅を維持、「データベースサービス」はプラスから±0ポイントとなった。
 主要相手先別では「製造業」「情報通信業」「卸売・小売業」「建設・不動産業」はプラス幅を拡大、「サービス業」は±0ポイントからプラスに転じ、「電気・ガス業」はマイナスから±0ポイントに転じ、「金融・保険業」はプラス幅を維持、「官公庁・団体」はプラス幅を縮小した。
 また、雇用判断(従業者の不足感)は、55.9ポイントとなった。

調査対象: JISA理事会社/主要会員企業
 調査時期: 令和3年9月末時点での判断

(1)情報サービス業の売上の将来見通し (今後3か月の当期3か月との比較)

(1)－1 業務種類別

区分		期別	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
売上全体	増加(A)		14.0	27.3	18.2	32.3	39.0
	横ばい		66.7	63.6	70.9	62.9	57.6
	減少(B)		19.3	9.1	10.9	4.8	3.4
	DI(A-B)		▲ 5.3	18.2	7.3	27.4	35.6
主要業務種類別	受注ソフトウェア	増加(A)	7.7	21.3	23.5	24.6	33.3
		横ばい	61.5	65.6	64.7	68.4	63.0
		減少(B)	30.8	13.1	11.8	7.0	3.7
		DI(A-B)	▲ 23.1	8.2	11.8	17.5	29.6
	ソフトウェアプロダクト	増加(A)	7.5	16.3	20.6	23.8	23.1
		横ばい	75.0	72.1	61.8	69.0	71.8
		減少(B)	17.5	11.6	17.6	7.1	5.1
		DI(A-B)	▲ 10.0	4.7	2.9	16.7	17.9
	計算事務等情報処理	増加(A)	4.8	7.4	8.3	17.2	18.5
		横ばい	85.7	92.6	87.5	72.4	70.4
		減少(B)	9.5	0.0	4.2	10.3	11.1
		DI(A-B)	▲ 4.8	7.4	4.2	6.9	7.4
	システム等管理運営受託	増加(A)	5.6	8.5	5.4	11.9	17.9
		横ばい	86.1	89.4	89.2	85.7	82.1
		減少(B)	8.3	2.1	5.4	2.4	0.0
		DI(A-B)	▲ 2.8	6.4	0.0	9.5	17.9
	データベースサービス	増加(A)	0.0	10.0	12.5	20.0	0.0
		横ばい	87.5	90.0	87.5	80.0	100.0
		減少(B)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
		DI(A-B)	▲ 12.5	10.0	12.5	20.0	0.0
	各種調査	増加(A)	20.0	20.0	0.0	14.3	28.6
		横ばい	60.0	80.0	75.0	85.7	71.4
		減少(B)	20.0	0.0	25.0	0.0	0.0
		DI(A-B)	0.0	20.0	▲ 25.0	14.3	28.6
	セキュリティサービス	増加(A)	22.7	20.0	23.1	37.0	34.5
		横ばい	77.3	80.0	76.9	63.0	65.5
		減少(B)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		DI(A-B)	22.7	20.0	23.1	37.0	34.5
	サーバハウジング、サーバホスティング	増加(A)	17.4	11.1	22.2	9.7	14.3
		横ばい	73.9	81.5	70.4	80.6	75.0
		減少(B)	8.7	7.4	7.4	9.7	10.7
		DI(A-B)	8.7	3.7	14.8	0.0	3.6

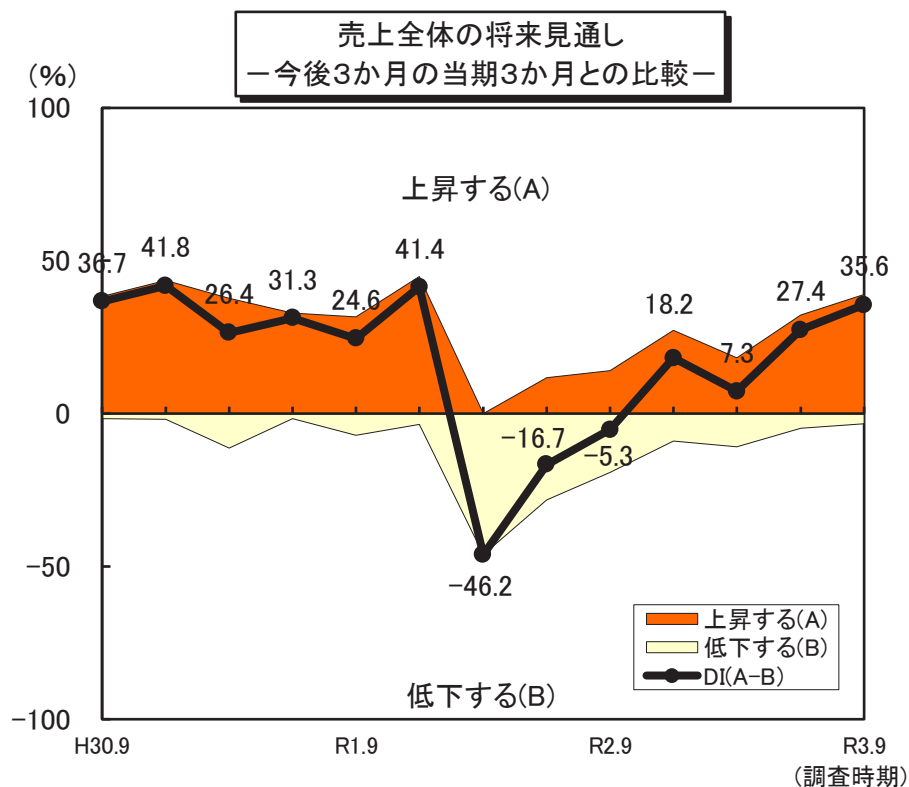
(1)ー2 主要相手先別（今後3か月の当期3か月との比較）

区分		期別	期別				
			令和2年 10～12月	令和3年 1～3月	令和3年 4～6月	令和3年 7～9月	令和3年 10～12月
主 要 相 手 先 別	製造業	増加(A)	4.5	11.3	18.6	33.3	37.5
		横ばい	50.0	66.0	69.8	60.0	58.3
		減少(B)	45.5	22.6	11.6	6.7	4.2
		DI(A-B)	▲ 40.9	▲ 11.3	7.0	26.7	33.3
	電気・ガス業	増加(A)	6.7	5.7	6.3	5.9	11.8
		横ばい	83.3	82.9	81.3	79.4	76.5
		減少(B)	10.0	11.4	12.5	14.7	11.8
		DI(A-B)	▲ 3.3	▲ 5.7	▲ 6.3	▲ 8.8	0.0
	情報通信業	増加(A)	13.3	27.5	35.7	30.6	39.1
		横ばい	71.1	70.6	57.1	61.2	58.7
		減少(B)	15.6	2.0	7.1	8.2	2.2
		DI(A-B)	▲ 2.2	25.5	28.6	22.4	37.0
	卸売・小売業	増加(A)	2.6	4.8	13.2	17.5	17.1
		横ばい	63.2	69.0	68.4	67.5	75.6
		減少(B)	34.2	26.2	18.4	15.0	7.3
		DI(A-B)	▲ 31.6	▲ 21.4	▲ 5.3	2.5	9.8
	金融・保険業	増加(A)	11.6	8.3	29.7	27.3	29.5
		横ばい	46.5	79.2	54.1	65.9	63.6
		減少(B)	41.9	12.5	16.2	6.8	6.8
		DI(A-B)	▲ 30.2	▲ 4.2	13.5	20.5	22.7
	サービス業	増加(A)	2.6	11.6	17.9	13.6	22.0
		横ばい	73.7	69.8	69.2	72.7	70.7
		減少(B)	23.7	18.6	12.8	13.6	7.3
		DI(A-B)	▲ 21.1	▲ 7.0	5.1	0.0	14.6
	官公庁・団体	増加(A)	26.2	30.6	26.8	28.3	19.1
		横ばい	64.3	65.3	61.0	65.2	72.3
		減少(B)	9.5	4.1	12.2	6.5	8.5
		DI(A-B)	16.7	26.5	14.6	21.7	10.6
建設・不動産業	増加(A)	9.7	3.0	14.8	10.0	21.2	
	横ばい	74.2	81.8	70.4	83.3	72.7	
	減少(B)	16.1	15.2	14.8	6.7	6.1	
	DI(A-B)	▲ 6.5	▲ 12.1	0.0	3.3	15.2	

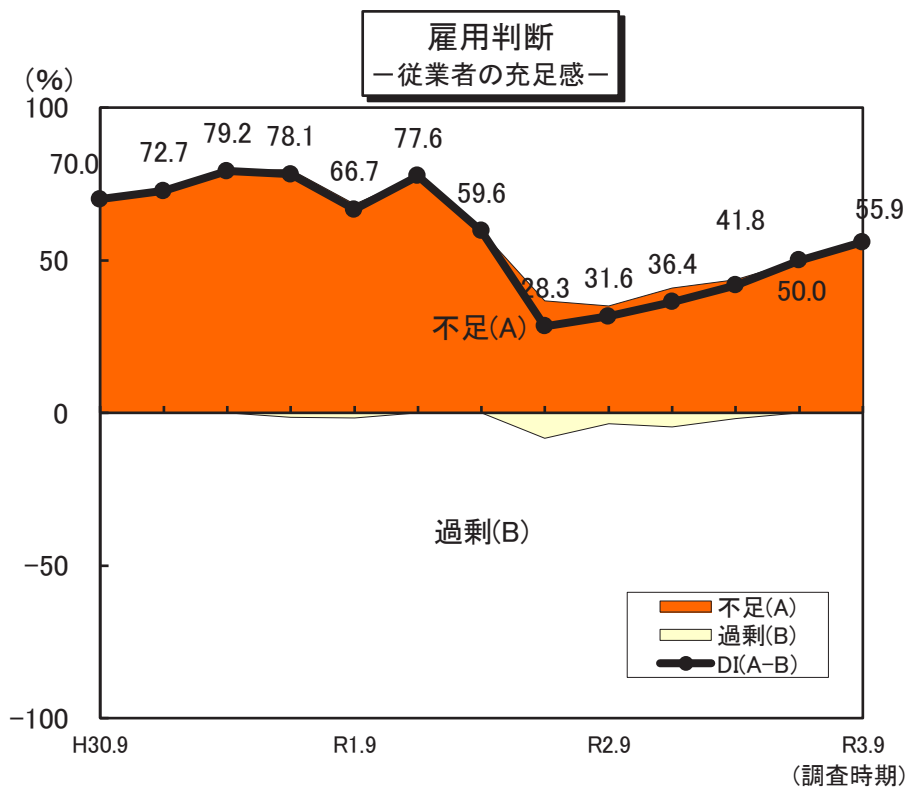
(2)情報サービス業の雇用判断

区分		期別	期別				
			令和2年 9月末	令和2年 12月末	令和3年 3月末	令和3年 6月末	令和3年 9月末
雇用判断 (従業者の充足感)	不足(A)	35.1	40.9	43.6	50.0	55.9	
	適正	61.4	54.5	54.5	50.0	44.1	
	過剰(B)	3.5	4.5	1.8	0.0	0.0	
	DI(A-B)	31.6	36.4	41.8	50.0	55.9	

情報サービス業 DI（売上見通し、雇用判断）

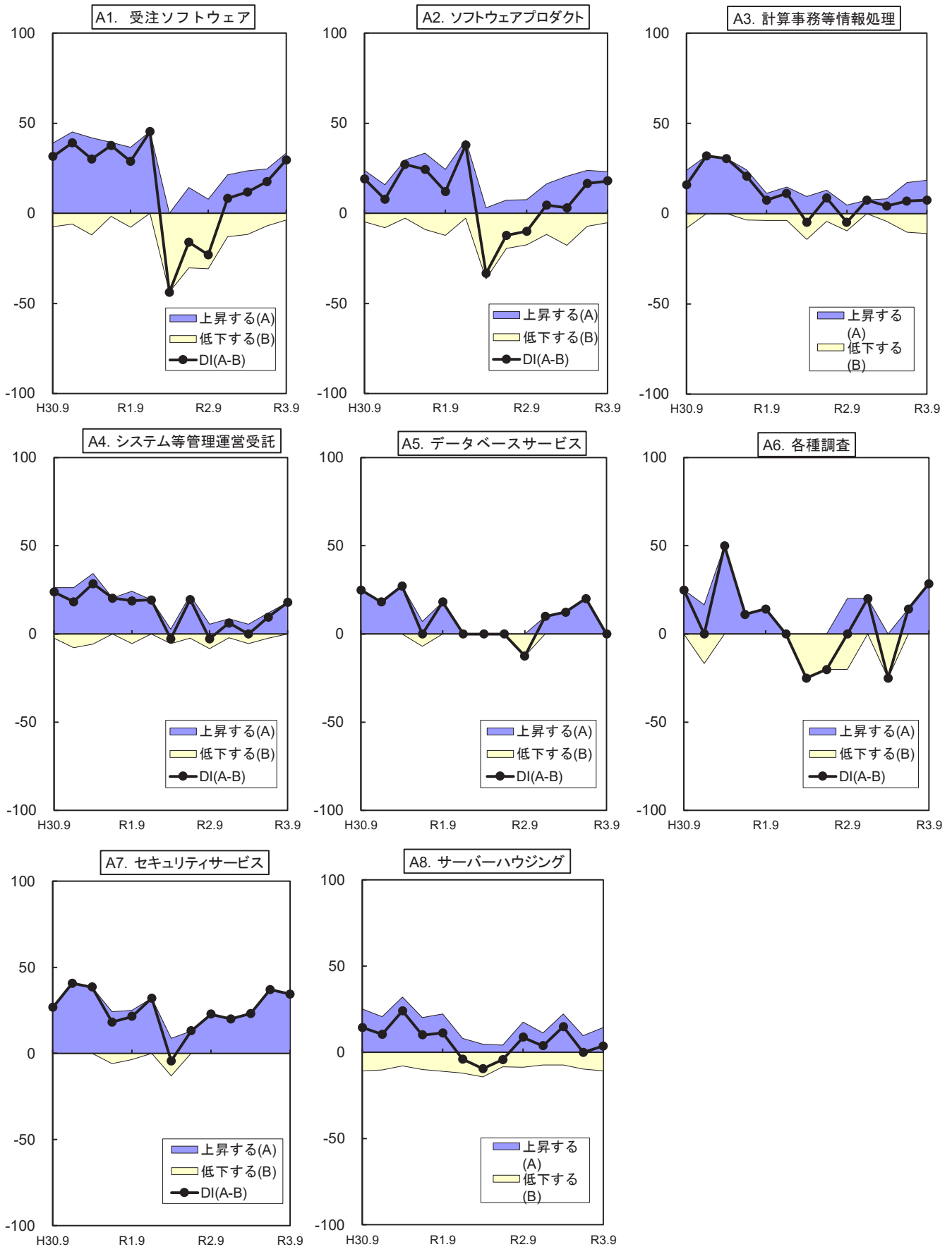


- 便宜上、「上昇する」をプラス側、「低下する」をマイナス側に作図してある。
- 売上高DI値は、「上昇する(%)」-「低下する(%)」であり、単位は%ポイントとなる。折れ線グラフが上に行くほど「売上見通し好調」を意味する。



- 便宜上、「不足」をプラス側、「過剰」をマイナス側に作図してある。
- 雇用判断DI値は、「不足(%)」-「過剰(%)」であり、単位は%ポイントとなる。折れ線グラフが上に行くほど「人手不足」を意味する。

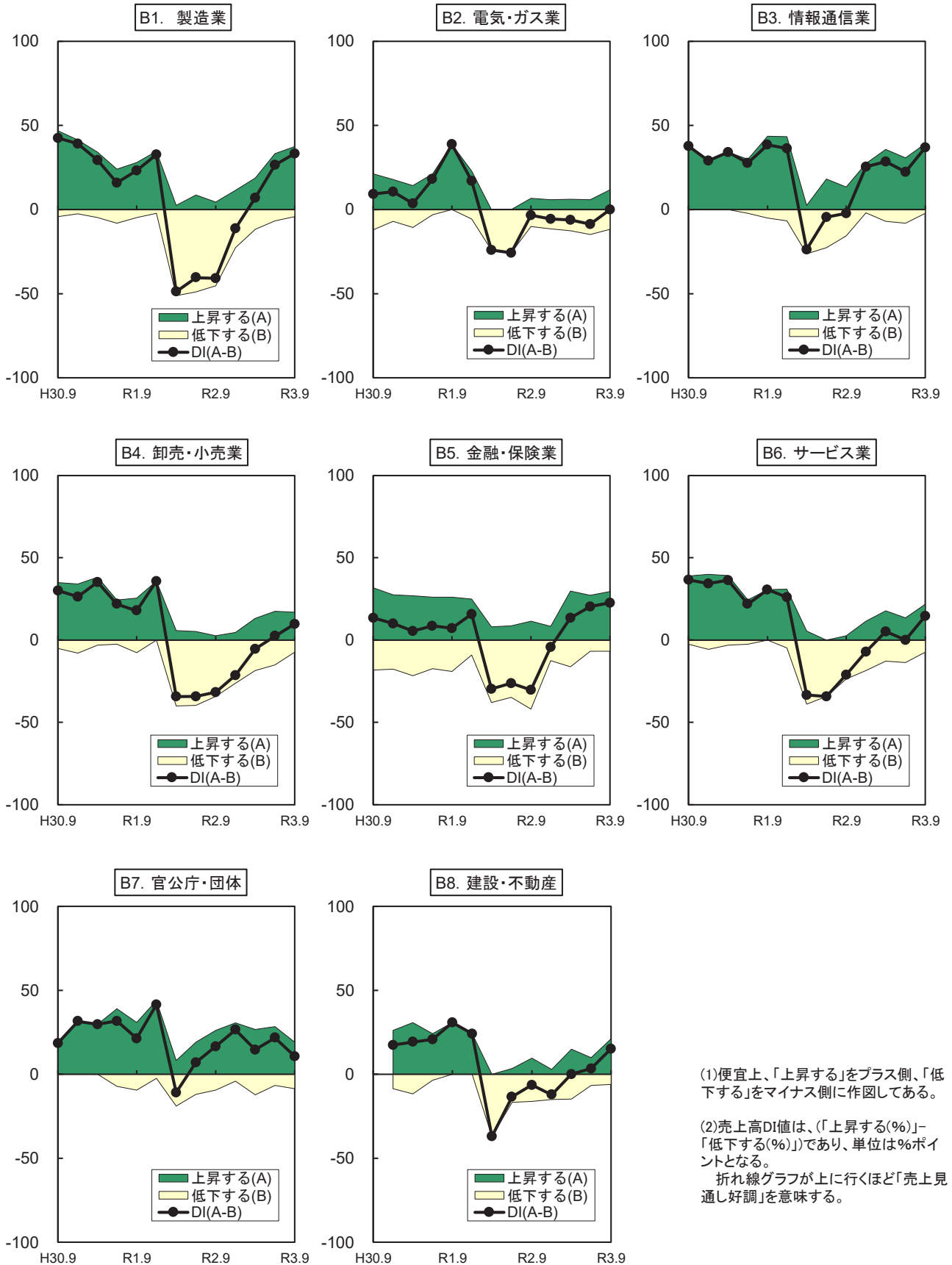
A. 業務種類別 売上の将来見通し (DI)



(1)便宜上、「上昇する」をプラス側、「低下する」をマイナス側に作図してある。

(2)売上高DI値は、「上昇する(%)」-「低下する(%)」であり、単位は%ポイントとなる。折れ線グラフが上に行くほど「売上見通し好調」を意味する。

B. 取引先別 売上の将来見通し (DI)



(1)便宜上、「上昇する」をプラス側、「低下する」をマイナス側に作図してある。

(2)売上高DI値は、「上昇する(%)」-「低下する(%)」であり、単位は%ポイントとなる。
折れ線グラフが上に行くほど「売上見通し好調」を意味する。